

令和7年度 宮崎市国民健康保険特別会計当初予算案の概要

資料1

予算の総額 431億9,300万円(前年度比較:▲4億4,100万円)

【主な歳入】

	令和7年度	令和6年度	増減	主な要因
国民健康保険税	69億6,832万5千円	68億8,509万9千円	+8,322万6千円	被保険者の所得増
県支出金	313億8,800万2千円	322億3,164万8千円	▲8億4,364万6千円	被保険者の減による保険給付費の減
一般会計繰入金	41億371万9千円	36億4,131万7千円	+4億6,240万2千円	標準システム導入にかかる費用及び人件費の増

【主な歳出】

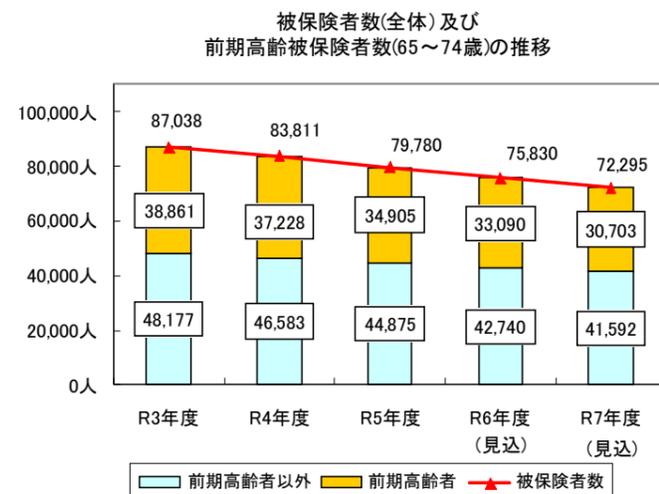
	令和7年度	令和6年度	増減	主な要因
総務費	12億9,025万2千円	6億5,885万9千円	+6億3,139万3千円	標準システム導入にかかる費用及び人件費の増
保険給付費	306億397万円	318億3,470万7千円	▲12億3,073万7千円	被保険者数の減
事業費納付金	108億4,100万1千円	106億7,180万6千円	+1億6,919万5千円	県の算定によるもの

【今後の財政運営について】

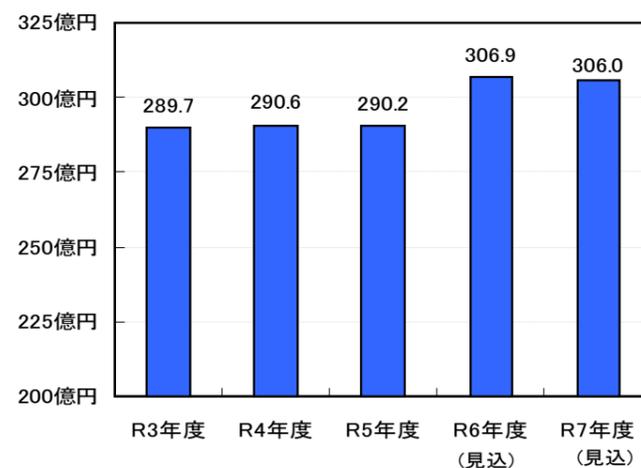
- ・保険税収入は被保険者数は減少しているが、所得増により微増。令和8年度以降、個人住民税の控除の見直しによる影響に注視が必要
- ・事業費納付金は保険給付費の状況により、横ばいもしくは増加となる見込み
- ・歳入不足で基金繰入が続いた場合は、令和9年度に基金が枯渇する見込み

【参考情報】

●被保険者数の推移と見通し



●保険給付費の推移と見通し



●運営基金残高、基金積立額及び基金繰入額の推移

